



# 水稻の高温障害対策について

水稻は夏に気温が高温になることで高温障害が起きることがあります。高温障害が起きると白未熟粒が増え、もみの充実度が落ちてしまいます。白未熟粒をへらすため、対策をしていきましょう。

## ＜白未熟粒とは＞

乳白粒、心白粒、基部未熟粒、背白粒、腹白粒などをまとめて白未熟粒といいます。形が整った粒（整粒）と比べて一部が白く見えます。白く見える部分は硬さが不十分で、割れやすいです。



形が整った粒（整粒）



乳白粒



基部未熟粒



背白粒

写真は農林水産省Webサイト 検査用語の解説より加工して作成

## ＼ 高温障害の対策 /

### もみ数を抑える

面積当たりのもみ数が多いと白未熟粒が発生しやすくなります。

### 中干しをする

中干しをすることで、分けつし過ぎを防いでもみ数の増えすぎを抑え、白未熟粒を減らすことが期待できます。



中干し適期の様子



中干し中の様子

### ●中干し時期

田植えの1か月後くらいで、1株当たりの分けつ本数が16～20本になった頃が目安です。

### ●中干しの程度

圃場の条件や天候等によって調整が必要です。一般的な圃場では、軽くひび割れができ、歩くと少し足跡ができる程度まで干します。

### 植付本数を多くしすぎない

植え付け本数が多すぎると、稲が茂りすぎてもみ数が増えます。植え付け本数は2～3本に抑えましょう。

### 株間を広げる

白未熟粒の発生が少ない植え付け密度は、1㎡当たり約15～18株(坪当たり50～60株)です。

植付株間と栽培密度の関係

株間 (cm)	栽植密度 1㎡当たり (株)	栽植密度 坪当たり (株)
22	15.2	50
21	15.9	52.5
20	16.7	55.1
19	17.5	58
18	18.5	61.2

### ケイ酸資材を補給する

ケイ酸は、稲が生長するのに大切な養分です。ケイ酸の効果には、受光態勢の改善、光合成速度の向上のほか、稲の温度を低くさせる「クーラー効果」があるため、しっかり補いましょう。

例：けい酸加里



## 中古農機「譲ります」情報募集!!

### 譲渡対象者/JA大阪北部管内の組合員

- ◆農機が倉庫に眠っていて使う予定の無い方の情報をお待ちしております。
- ◆各支店・センターに備え付けの『中古農機「譲ります」情報カード』に必要事項を記入のうえ最寄の支店へ提出願います。

※本コーナーは出品者と譲受人との直接交渉となります。

掲載内容は広報誌発行時によるものであり、引き渡し時の状態と異なる場合があります。

